

国家公務員募集

2022年度 農林水産省水産系技術職員採用試験 受験案内

(国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)相当)

この試験は、農林水産省水産系技術業務に従事する官職(「一般職の職員の給与に関する法律」による行政職俸給表(一)の職務の1級の官職)等への採用試験です。

受付期間	4月4日(月)～5月13日(金) ○受付時間 9時00分～17時00分(土曜日・日曜日及び祝日を除く。) ○郵送された申込書は、5月13日までの通信日付印のあるものだけに限り受け付けます。
申込先	水産庁漁政部漁政課 (〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 TEL03-3502-8111 内線 6504) ○提出書類 申込書1部(必要事項を記入し、写真を貼ったもの) ○受験票発送予定 5月27日頃
第1次試験	6月12日(日) ○試験種目 基礎能力試験(多肢選択式)、専門試験(記述式・多肢選択式) ○合格発表 7月6日(合格者には、合格通知書を発送します。)
第2次試験	8月上旬 ○試験種目 人物試験 ○合格発表 8月下旬(合格者には、合格通知書を発送します。)
受験資格	1. 1992(平成4)年4月2日～2001(平成13)年4月1日生まれの者 2. 2001(平成13)年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの (1) 大学を卒業した者及び2023(令和5)年3月までに大学を卒業する見込みの者 (2) 水産に関する課程を有する短期大学を卒業した者及び2023(令和5)年3月までに当該短期大学を卒業する見込みの者 【この試験を受けられない者】 (1) 日本の国籍を有しない者 (2) 国家公務員法第38条の規定により国家公務員となることができない者 ○ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者 ○ 一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者 ○ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者 (3) 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者(心神耗弱を原因とするもの以外)

(注) 受付期間にご注意ください。

試験種目・試験の方法

試験	試験種目	内容・出題分野・出題数	解答時間
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 出題数は40題、うち知能分野27題(文章理解①、判断推理⑧、 数的推理⑤、資料解釈③)、知識分野13題(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))	2時間 20分
	専門試験 (記述式)	農林水産省水産系技術職員として必要な専門的知識などについての筆記試験 水産に関する領域 1題	1時間
	専門試験 (多肢選択式)	農林水産省水産系技術職員として必要な専門的知識などについての筆記試験 出題数は40題(出題分野は別表のとおり)	3時間
第2次試験	人物試験	人柄、対人的能力などについての個別面接	

試験日程・試験地

試験	試験種目	試験日程		試験地・試験場
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	6月12日(日)	受付開始: 8:30	東京都: 農林水産省 (千代田区霞が関1-2-1) 札幌市: 北海道漁業調整事務所 (北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎) 神戸市: 瀬戸内海漁業調整事務所 (中央区海岸通29番地 神戸地方合同庁舎) 福岡市: 九州漁業調整事務所 (博多区沖浜町8-1 福岡港湾合同庁舎)
	専門試験 (記述式)		開始: 9:25	
	専門試験 (多肢選択式)		終了: 17:15	
第2次試験	人物試験	8月上旬 第1次試験合格通知書で指定する日時(日時の変更は、原則として認められません。)	東京都: 農林水産省 (千代田区霞が関1-2-1)	

受験手続

- 申込用紙に必要事項を記入し、封筒に入れて、返信用封筒(長形3号、返送先の住所及び宛先を記入し、84円切手を貼付したもの)を必ず同封し、できる限り郵送でお申し込みください。
- 郵送による申込は、郵便局で『簡易書留』扱いにし、控えを受験票が届くまで保管してください。
- 受験票は、5月27日頃発送する予定ですので、6月2日までに到着しない場合は、申込先にお問い合わせください。
- 第1次試験地は、受験に便利な一都市を選んでください。
- 写真は、本人であることが明瞭に確認できるもの(申込前3か月以内に撮影した、脱帽、上半身、正面向)を貼付してください。
- 申込用紙の記入に当たっては、裏面の「記入心得」を参照してください。

合格発表等

- 第1次試験の合格発表は7月6日、第2次試験の合格発表は8月下旬、本人に文書により通知します。
- 採用者は、第2次試験の合格者の中から健康診断を行ったうえ、決定します。なお、採用予定日は、原則令和5年4月1日です。

採用予定数

- 水産庁（本庁、漁業調整事務所及び農林水産本省の水産関係行政を取り扱う部局）
 - 独立行政法人農林水産消費安全技術センター
- } 20名程度

別途、農林水産省ホームページに掲載します。

[アドレス <http://www.maff.go.jp/j/joinus/recruit/index.html>]

給 与

- 採用当初の額は、次のとおりです。（令和4年4月現在の「一般職の職員の給与に関する法律」の規定による。）
 - 行政職員(大学卒業直後の場合) 行政職(一)1-25 182,200 円
- 上記のほか、次のような諸手当が支給されます。
 - 扶養手当……扶養親族のある者に、子月額 10,000 円等
 - 住居手当……借家（賃貸のアパート等）に住んでいる者等に、月額最高 28,000 円
 - 通勤手当……交通機関等を利用している者に、1 箇月当たり最高 55,000 円
 - 本府省業務調整手当……本府省の業務に従事する者に、行政職（一）1 級の場合、月額 7,200 円
 - 期末・勤勉手当（いわゆるボーナス）……1 年間に俸給等の約 4.30 月分
 - 地域手当……民間賃金水準の高い地域に勤務する者等に、最高で俸給等の 20%（東京都特別区の場合）
- 独立行政法人に採用された者は、独立行政法人が定めた給与が支給されます。

勤務時間・休暇

- 勤務時間は、原則として、1日7時間45分で、土・日曜日及び祝日等の休日は休みです。
- 休暇には、年次休暇(年20日(4月1日採用の場合、採用の年は15日))。残日数は20日を限度として翌年に繰越し)のほか、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)及び介護休暇等があります。また、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭生活の両立)支援制度として、育児休業制度等があります。
- 独立行政法人に採用された者の勤務時間・休暇等については、独立行政法人ごとに定められています。

その他

- 受験に要する一切の費用は、受験者の負担となります。
- 昨年度のこの試験の実施状況は、申込者数138名、合格者数30名、採用者数15名でした。

- この試験に関する照会先

水産庁漁政部漁政課人事班人事第1係

(〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 TEL 03-3502-8111 内線 6504)

別 表

専 門 試 験 出 題 分 野 一 覧 表

専 門 試 験
水 産 一 般
漁 政
漁 業 学 ・ 水 産 資 源 学
水 産 海 洋 学 ・ 水 産 環 境 保 全
水 産 生 物 学 ・ 増 養 殖 学
水 産 化 学 ・ 水 産 利 用 学
水 産 経 済 学 ・ 水 産 経 営 学
統 計 学

【お知らせ】

この試験の他に、次の「正規の試験に準ずる試験」が行われています。詳しくは、各実施省庁にお問い合わせください。

試 験 の 程 度	試験の区分	実施省庁 [問い合わせ先]
総合職試験（院卒者試験）相当	獣 医 学	厚生労働省大臣官房人事課 [TEL 03-5253-1111] 農林水産省大臣官房秘書課 [TEL 03-3502-8111]
総合職試験（大卒程度試験）相当	意 匠 学	特許庁総務部秘書課 [TEL 03-3581-1101]
一般職試験（大卒程度試験）相当	畜 産	農林水産省畜産局畜産振興課 [TEL 03-3502-8111]
	船 舶 工 学	国土交通省大臣官房人事課 [TEL 03-5253-8111]
	原子力工学	原子力規制庁長官官房人事課 [TEL 03-3581-3352]